

## 国際化学肥料ニュース (2015年1月)

### 肥料業界の2015年1月動態

- \* カナダ Canpotex 社は日本との間に 2015 年上半期の塩化加里輸入契約を締結したと発表した。2015 年上半期の標準塩化加里 CFR 価格が 410 ドル/トンで、2014 年上半期の価格より 30 ドル/トン高くなる。日本の塩化加里輸入量が約 50 万トン/年で、70～80%がカナダ Canpotex 社からの輸入である。
  
- \* 1月12日、カナダ Canpotex 社は中国の国営中化化肥社との間に 2015～2017 年の塩化加里売買基本契約を締結したと発表した。  
契約の主な内容は、2015～2017 年の 3 年間に Canpotex 社が中化化肥社のマカオ支社にそれぞれ 50 万トン、65 万トン、75 万トン以上の赤塩化加里を中国国内に輸入販売独占権利を与えるほか、その他の加里肥料を 80 万トン/年未満の輸入販売非独占権利も与える。  
また、双方が塩化加里の国際価格および中国国内の実情に基づき、6 か月ごとに塩化加里の輸入価格を協議で決める。もし、輸入価格が決められない場合は、双方がほかの方法で自由に協力することも認められる。
  
- \* 1月13日に発表された中国税関の速報によれば、2014 年 1～12 月に中国が塩安と硝酸加里を除く化学肥料を 2904 万トン輸出し、輸出金額 89.15 億ドルであった。2013 年度に比べ、輸出量が 52.8%、輸出金額が 43.1%の大幅増であった。  
2014 年 12 月の各化学肥料輸出量と金額は統計中であるが、1～11 月の化学肥料輸出量の内訳は尿素 1198.2 万トン、DAP414.7 万トン、MAP193.8 万トン、硫安 365.2 万トン、過石と重過石 145.4 万トン、NP 化成肥料 74.6 万トンであった。また、中国では化学肥料の範疇に属しない塩安と硝酸加里の輸出量が 70 万トン以上である。  
WTO の国際貿易統計データでは、2013 年の化学肥料輸出量と金額の国順位は第 1 位ロシアの 2729 万トン、91 億ドル；第 2 位カナダの 1941 万トン、66 億ドル；第 3 位中国の 1830 万トン、63 億ドル；第 4 位アメリカの 1240 万トン、50 億ドルであった。
  
- \* 1月27日に発表された中国税関の統計データによれば、2014 年 12 月の尿素輸出量 163.3 万トン、昨年同期より 117%増、平均 FOB 価格 297.6 ドル/トンであった。従って、2014 年の中国尿素輸出量 1361.6 万トン、昨年より 64.7%増であった。
  
- \* ベラルーシ政府の発表によれば、ベラルーシの 2014 年加里鉱石採掘量が 4499 万トンに達し、その 60%を粒状塩化加里、40%を粉塩化加里の原料として、計 1033.7 万ト

ン塩化加里を生産し、世界 80 か国に輸出した。2014 年の塩化加里生産量が前年より 48%増、史上最高である。

- \* ロシア Uralkali 社が 2014 年塩化加里生産量の速報値を発表した。塩化加里生産量 1210 万トン、2013 年より 210 万トン増。2014 年 11 月に所有の Solikamsk2 号鉱山に逆流事故が発生し、鉱山の全面生産停止となったが、第 4 四半期の塩化加里生産量が前年度同期より 10 万トン増の 290 万トンに達した。

Uralkali 社の塩化加里生産能力が 1300 万トン／年で、事故が発生して生産停止した Solikamsk2 号鉱山の生産能力が 230 万トン／年である。

- \* 1 月 27 日、2015 年インド初の尿素入札結果が公開された。22 社から計 231～238 万トンの応札あり、最低応札価格は Melastase 社の CIF297.1 ドル／トンで、中国産尿素とみられる。今回の尿素入札はインド MMTC 社が行ったもので、購入予定量 80～100 万トンである。

2 月 5 日、MMTC 社が尿素最終購入数量を決めた模様。契約数量 104 万トン、その中に中国産尿素 101 万トン。

- \* ヨーロッパ市場の 2015 年第 1 四半期の塩化加里価格が値上げすることになった。加里メーカーと輸入商社との多角商談で、2014 年第 4 四半期の実際販売価格に 10～15 ユーロ／トンを値上げすることがほぼ確定された。1 月から塩化加里の CIF 価格はフランスとベネルクス 3 国（ルギー、オランダ、ルクセンブルク）が 265～270 ユーロ／トン、地中海地域が 260～265 ユーロ／トンになった。一方、粒状塩化加里の CIF 価格は 300 ユーロ／トンである。

### 大手各社の営業業績

- \* ヨルダンりん酸塩メーカーJPMC 社は 2014 年 1～9 月の業績を公表した。りん酸塩輸出 430 万トン、化学肥料輸出 45.3 万トン、売上高 5.23 億ヨルダンディナール（約 3.7 億ドル）、営業利益 3350 万ヨルダンディナール（約 2375 万ドル）、純利益 870 万ヨルダンディナール（約 617 万ドル）で、すべて前年度同期より増加した。

- \* チュニジア最大のりん酸塩メーカーGafsa phosphate 社は 2014 年に労働者のストライキにより生産量が大幅に減少し、390 万トンしかなく、約 1150 万ドルの損失を被ったと発表した。

2010年12月から始まった「アラブの春」運動がチュニジアのりん酸塩産業に大きな打撃を与えた。2011年～2014年までの4年間りん酸塩の生産が低迷して、2010年の800万トン生産量に回復どころか、減少する一方である。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* ロシア Uralkali 社の発表によれば、Berezniki 加里鉍山の産出量低下を補うため、Ust-Yavinsky 加里鉍山の開発を正式に決定した。現在、第1期の立て坑のさく井作業を始めた。2020年に完成し、稼働始める。塩化加里生産能力280万トン/年と計画する。
  
- \* 中国内モンゴルは豊富な石炭と天然ガス資源をバックに尿素工場を次々に建設し、生産量が急増した。2014年末現在、内モンゴルの石炭を原料とする尿素工場が8か所、生産能力606万トン/年、天然ガスを原料とする尿素工場3か所、生産能力251万トン/年、合わせて857万トン/年の尿素生産能力を有する。また、さらに10数ヶ所尿素工場が建設中または計画中で、その生産能力が1412万トン/年にも達する。将来、内モンゴルは中国最大の尿素生産基地になる見通りである。
  
- \* 中国青海省ツイダム盆地に巨大な地下鹹水資源を発見した。塩化加里資源の予測埋蔵量が2億トン以上である。
  
- \* ベトナム国営化学工業グループ (Vinachem) は建設中の2番目のDAP工場がほぼ完成し、今年上半期に生産開始と発表した。
  
- \* インドネシア国営企業 petrokimia 社は東ジャワ一州に尿素工場を建設する計画を立てた。今年第1四半期に着工、2017年下半年に完成する予定である。必要な建設資金は三井住友銀行をはじめとする銀行団からの貸出に賄う予定である。

### その他

- \* ロシア新聞社1月7日の報道によれば、ベラルーシ大統領が大統領令を発表し、2015年1月1日からロシア、ベラルーシ、カザフスタン3国の関税同盟 (EAC) 以外に輸出した塩化加里に45ユーロ/トンの輸出関税を徴収する。2013年9月、ロシア Uralkali がBPCから脱退したことにより塩化加里輸出が急減したことを受け、ベラルーシが塩化加里の輸出関税を撤廃した経緯がある。

- \* ベトナム The Economic Times 紙 1 月 5 日の報道によれば、農家の負担を軽減し、農業生産を促進するため、ベトナム政府が 2015 年 1 月 1 日から化学肥料、飼料等の農業資材にかかる増徴税を 5%から 0%に引き下げた。また、ベトナム政府財務省が化学肥料と飼料メーカーと販売業者に値下げするように要請した。